

講習会案内システムと教材の連携*

4 S-3

役誠雄[†] 神沼靖子[‡] 富澤眞樹[‡] 今川浩[†] 吉川直樹[§]
[†]富士通株式会社 [‡]前橋工科大学 [§]日本アルゴリズム株式会社

1. はじめに

我々はこれまで双方向遠隔教育システム及び人材育成システムを構築することにより、マルチメディア教材を利用できる基盤を順次整備してきた。その中で人材育成支援のための教材蓄積環境を整備し、エンドユーザを対象に実証実験を行ってきた。更にこの環境の上に講習会案内システムを設計・開発し、講習会案内から教材共用支援まで一貫してサービスできる環境を構築した。そこで本稿では講習会案内システムの設計と方針について報告する。

2. システム概要

システム概要を図 1 に示す。本システムは学内の 2 つの棟に配置され、前橋市の学術ネットワークを経由

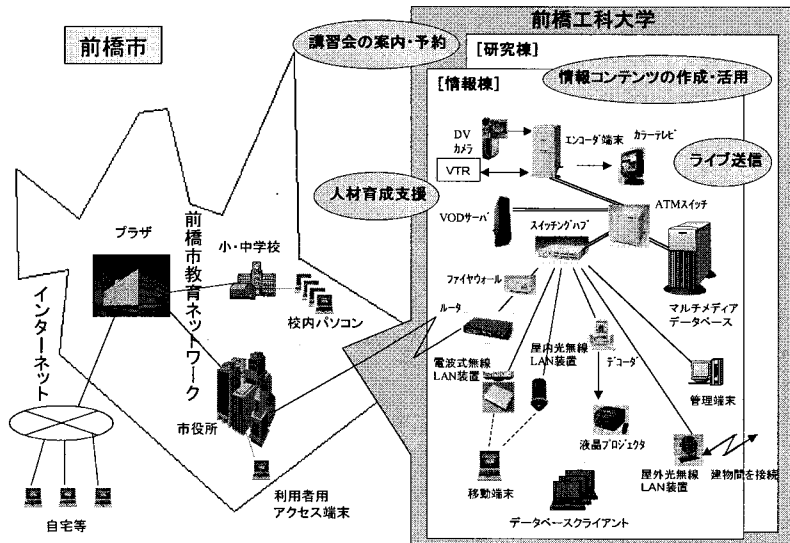


図 1 システム概要

して前橋市教育プラザと前橋市役所からアクセスできるようになっている。学内の各棟には双方向遠隔教育やコンテンツ作成のためにネットワーク機器（有線／無線）、VODサーバ、エンコーダ／デコーダ機器が同様の構成で設置されている。またデータベースサーバ、UNIXサーバ、各種端末機器については各棟で構成が異なっている。

3. システム設計及び機能

システムの設計にあたり特に重視したことは次の 2 点についてである。

- (1) 一般の人々がアクセスできるシステムであること。また操作しやすい画面であること。
- (2) 既存の人材育成システムと連携できること。

このためにユーザインターフェースとして Web ブラウザを採用し、プラットフォームでは人材育成システムと同じ OS 及びデータベースを採用して連携を容易にした。またメニュー画面の階層を削減して必要な情

* The Cooperation of teaching material and course guide system

[†] Shigeo Eki, Hiroshi Imagawa (Fujitsu Limited)

[‡] Yasuko Kaminuma, Masaki Tomisawa (Maebashi Institute of Technology)

[§] Naoki Yoshikawa (Nippon Algorithm Co., Ltd.)

報の集中化を図り、人材育成システムとの連携はURLリンクの設定により実現した。これによって操作性が向上するとともに、講習会案内において講演の詳細な内容を確認したり講習会終了後に再確認したりすることができるようになった。

更に運用時の配慮として以下の3点を支援している。

(a) 個人情報の管理方法については、予め登録することなく予約の都度メールアドレスで確認することとした。これにより予約者の安全性が確保できるとともに管理の煩雑性から解放された。

(b) 予約申し込みに関しては、オンラインの他にオフライン処理用の機能も付加しオペレータによる操作を可能とした。

(c) システム管理者の認証方法についてはパスワード以外の認証方式を検討し、パスワード認証とサイン認証を併用することにした。

更に実証実験の支援のために講習会案内を参照した回数のカウント及び各種ログ収集を可能にした。参照回数はWebサーバの機能によるデータ収集、ログについては講習会案内の登録・更新・削除や予約申し込み・取り消し等のログを収集するための機能を実装した。

以上の検討項目を反映して実際に講習会案内システムを開発した。各機能の位置付けを図2に示す。

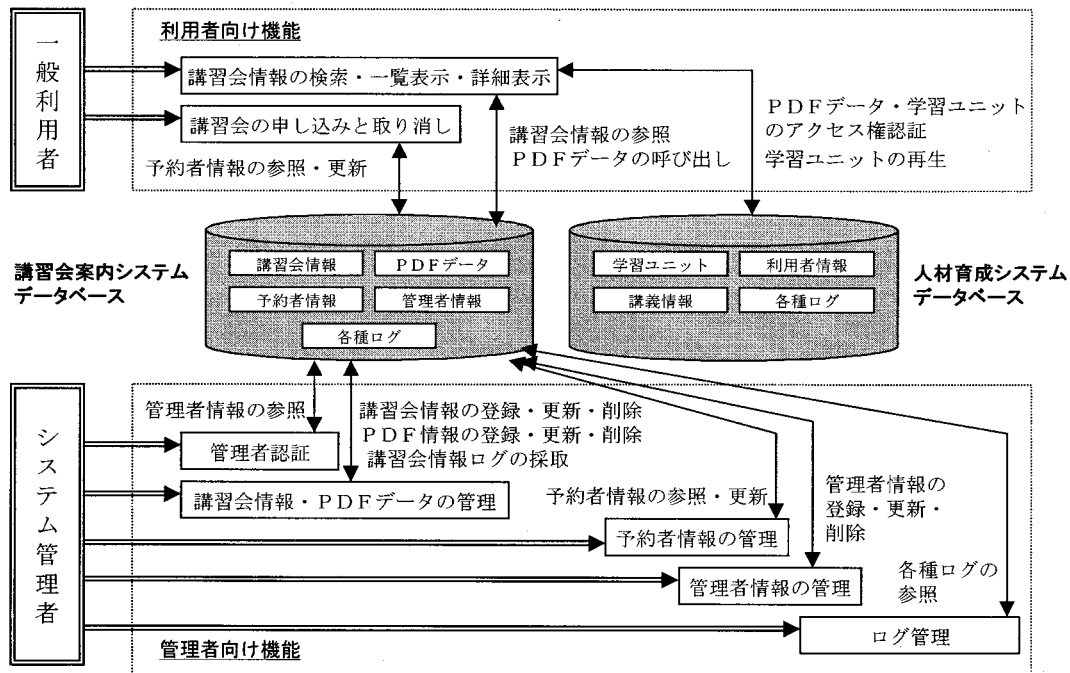


図2 講習会案内システムの機能

4. おわりに

講習会案内システムの主な機能は一通り動作検証を行い、設計思想にそった機能が実現できていることを確認した。今後の課題としてシステムの無停止連続運転について検討中である。基本的には2台のサーバを連携したシステムを構築する方針で進めている。

謝辞 本研究は通信・放送機構との共同研究である。実験環境整備とその設計に多大の支援を得ていることを紹介し、ここに感謝の意を表す。